

2020/8/25 (Tue.) 第125号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 - 発行所 -
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込6-12-1
 SSかごまち301号室
 〒113-0021
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiiiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

日医連 執行委員会を開催

新委員長に中川日医会長を選出!

日本医師連盟は、令和2年度初の執行委員会を7月21日に新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、初めてテレビ会議で開催した。新委員長に中川俊男日本医師会会長を満場一致で選出し、日医連役員人事、令和2年度交付金、次期参議院議員選挙等について審議を行った。次期参議院議員選挙比例代表(全国区)の日医連組織内候補者は、公募により推薦決定することが決議された。



就任した中川俊男日医連委員長

日医連新委員長に中川日医会長を選出

日医連は、七月二十一日、執行委員会を開催。小杉悟日医連事務局長の司会により、まず、「委員長選出における議長選出要領」に基づき、委員長選出の議事進行を行う仮議長の選出が行われ、長瀬清北海道医師連盟委員長が選出された。

日医連委員長の選出に際し、長瀬議長は、「委員長候補者につき、日医の推薦を得ることを基本とする」とを説明した。

中川委員長挨拶

えで、委員長選出規程の手続きに従い、日医からの推薦候補者は中川俊男日医会長であることを報告し、中川日医会長が満場一致で委員長に選出された。

挨拶に立った中川委員長は、「まず、日本医師連盟と政府、政権与党である自民党との関係は以前とまったく変わることはないと、全国の先生方にはっきりと申し上げておきたい。今回、日医連に新しい人材を迎え、より柔軟でより強靱な組織へと

ラッシュアップ、さらにパワーアップさせる所存である。日医連は、日医が目指す医療を実現するため、さまざまな活動を行ってきた。日医連と日医は別組織であるが、その活動は表裏一体のものであり、両組織の活動が有機的に機能して初めて、私共が考える医療の実践が可能になる。医療活動は大変重要である。診療報酬の改定率をはじめとした社会保障関連予算は、政権与党から内閣への働きかけが行われる年末の予算編成過程によって決定され、税制について

も政治で決着する。官邸、内閣、政権与党関係議員が相互に重層的に複合的に関係し、年末に向けて最終決着をする。医療政策を実現するには中央と地方で医政活動を強力に展開することが不可欠である。直面する医政的課題として、新型コロナウイルス感染症による逼迫した医療経営、時限的特例的に緩和されているオンライン診療、薬価調査、薬価改定等が挙げられる。とくに新型コロナウイルス感染症については、第二次補正予算が八月下旬より医療機関に振り込まれるが、それだけでは疲弊した医療機関に心えるだけの額に至っていない。今後、スピード感をもって第二次補正予算の予備費を活用することが必要である。

風評被害による受診抑制などもあり、疲弊した医療機関の経営へのさらなる支援を強く訴えかけていかなければならない。このような極めて深刻な状況なかで、日医の医療政策を実現し、日医の主張を政策や予算に反映いただくよう、政府や政権与党である自民党、また公明党への陳情、要請活動を従来以上に考えていかなければならないと考えている」と述べた。

役員人事を承認

次に、中川委員長が議長とな



日医連執行委員会、初のテレビ会議の様子

り、日医連役員人事、令和2年度交付金、次期参議院議員選挙について審議が行われた。

役員人事については中川委員長は、「公益社団法人の認定等に関する法律に基づき、日医役員のうち日医連役員を兼務できるのは日医役員の三分の一以下に限定されること」を説明し、副委員長五名、常任執行委員については全国の医師連盟の声をできる限り幅広く聞くために八ブロックよりそれぞれ一名ずつ合計八名、委員長推薦九名と合わせて十七名、会計責任者一名、

(1面より)
 同職務代行者一名、会計監督者三名の各役員と、日医連規約第十四条に規定されている参与九名について審議し、承認された(日医連役員・執行委員等名簿)は別表のとおり。

令和2年度交付金、昨年同様30%を交付

続いて、令和2年度交付金の審議に移り、日医連副委員長に就任した今村聡氏が、「令和2年度交付金については、日医連の財政状況や年内の衆議院解散・総選挙の可能性、二年後の参議院議員選挙等を勘案して、昨年度と同様、三〇%の交付にて実施させていただきたい」と提案し、原案とおり可決された。

次期参議院議員選挙

最後に、次期参議院議員選挙について、今村副委員長から、直近の「日医連活動指針」、「国政選挙の候補者選考基準」と「参議院比例代表選挙候補者選出要領」の規定に基づいて、参議院議員選挙比例代表候補者として「①日医連の組織内候補を擁立するか」、「②政権与党である自由民主党の候補者として擁立するか」、また、候補者選考基準ならびに候補者選出要領において、広く会員のなかから公募することが原則であることを前提としたうえで、「③公募を行うか」を執行委員会に提案。種々議論があったが、日医連の組織内候補を擁立すること、所属政党は政権与党の自由民主党とすること、公募により推薦することを決定した。

日本医師連盟役員・執行委員等名簿

令和2年7月21日

委員長	中川 俊 男				
副委員長	今村 聡	松原 謙 二	猪口 雄 二	金井 忠 男	森本 紀 彦
常任執行委員	深澤 雅 則	佐藤 和 宏	猪口 正 孝	今井 立 史	柵木 充 明
	茂松 茂 人	久米川 啓	安里 哲 好	菊岡 正 和	広岡 孝 雄
	松田 峻一良	松村 誠	渡辺 憲	松井 道 宣	羽鳥 裕
	釜 范 敏	松本 吉 郎			
会計責任者	小林 博				
会計責任者職務代行者	目黒 順 一				
会計監督者	嘉数 研 二	渡部 透	平松 恵 一		

執行委員	都道府県	都道府県医師連盟委員長	負担金賦課対象者数基準「規約第13条2項(2)」		
北海道	長瀬 清	●藤原 秀俊	松家 治道		
	高木 伸也	村上 壽治			
	小原 紀彰	小泉 嘉明			
	(佐藤 和宏) *2	板橋 隆三			
	小玉 弘之	小泉 ひろみ			
	中目 千之	中條 明夫			
	佐藤 武寿	星 北斗			
	鈴木 邦彦	松崎 信夫			
	稲野 秀孝	長島 徹			
	須藤 英仁	西松 輝高			
	(金井 忠男) *1	水谷 元雄	神田 誠		
	入江 康文	金江 清	和座 一弘		
	尾崎 治夫	真鍋 勉	角田 徹	平川 博之	蓮沼 剛
		目々澤 肇			
	(菊岡 正和) *2	澤井 博司	池上 秀明	古井 民一郎	
	堂前 洋一郎	川合 千尋			
	馬瀬 大助	炭谷 哲二			
	安田 健二	上田 博			
	池端 幸彦	安川 繁博			
	(今井 立史) *2	手塚 司朗			
関 隆教	竹重 王仁				
河合 直樹	池田 久基				
紀平 幸一	徳永 宏司	勝 呂 衛			
(柵木 充明) *2	杉田 洋一	櫻尾 富二	西山 朗		
二井 栄	馬岡 晋				
越智 真一	小西 眞				
(松井 道宣) *2	濱島 高志				
(茂松 茂人) *2	加納 康至	生野 弘道	栗山 隆信		
松本 卓	足立 光平	鈴木 克司	橋本 寛		
(広岡 孝雄) *2	安東 範明				
寺下 浩彰	平石 英三				
(渡辺 憲) *2	明穂 政裕				
(森本 紀彦) *1	湯原 紀二				
松山 正春	大原 利憲				
(松村 誠) *2	吉川 正哉				
河村 康明	清水 暢				
齋藤 義郎	今井 義禮				
(久米川 啓) *2	小西 久典				
村上 博	菅 拓也				
岡林 弘毅	刈谷 隆明				
(松田 峻一良) *2	穴井 堅能	平田 泰彦	荒木 久昭		
松永 啓介	志田 正典				
森崎 正幸	釣船 崇仁				
福田 稠	水足 秀一郎				
近藤 稔	藤本 保				
河野 雅行	吉田 建世				
池田 琢哉	大西 浩之				
(安里 哲好) *2	宮里 善次				
参与	城守 国斗	長島 公之	江澤 和彦	橋本 省	宮川 政昭
	渡辺 弘司	神村 裕子	羽生田 俊	自見 英子	

(注) *1は副委員長。*2は常任執行委員。●は変更。